

生活保護受給者の病院「窓口負担」

福島原発事故の避難者を危険な汚染地域に戻せとの暴言を吐いた日本維新の会は、14日の衆院予算委員会でも増え続ける生活保護世帯の切り捨てを迫り、国民無視の姿勢をあらわにしました。

維新の井上英孝議員は、基礎年金より生活保護費のほうが多いとして、低すぎる年金を引き上げるのではなく、生活保護費の「抑制」を求める逆立ちした主張を開きました。

あげくには「年金生活者は力ゼを引いたからとすぐに病院にいくようなことはない」と述べ、負担増で受診抑制まで引き起こしている実態も見ず、「生活保護受給者も、それなりの医療費を負担すべきだ」と述べ「窓口負担」導入をけしかけました。

「社会保障を賢く強くする」という「維新八策」ですが、むしろ「おろかに弱くる」のが同党の姿勢です。

(信)